

## 広報課

課長代理 北川 真也

広報課は、広報の拡充を目的に以前の総務課広報係を独立・増員させる形で2024年6月1日より新たに発足した。総務部に属し、2024年12月末時点の人員は所属長を含む7名で、正職員5名・パート職員2名の体制となっている。

所掌業務は広報関連業務、人材育成関連業務の2つに大きく分かれる。広報関連業務については、従来担当していた院内広報誌「ひろっぱ」をはじめとする刊行物などの制作～発行、ポスターやチラシ制作、催事や会合時の写真撮影およびオフィシャルカメラマンの管理、メディアへのプレスリリースおよび取材調整、広告出稿調整、地域医療講演会や出前講座「ひろっぱ講座」の事務局、病院見学の窓口業務など多岐にわたり、新たなものとして公式SNSの運用、動画制作などが加わった。

人材育成関連業務については、人事部門の本格稼働まで、総務課と協力しながら担当している。当課では人材育成委員会の事務局をはじめ、通年での人事研修、近森会グループ学術集会などを運営している。

主な業務実績などについては、以下に記す。

注) 2024年1～5月の総務課広報係の業務も合わせて本年報に記載

### 【広報関連】

#### 院内広報誌「ひろっぱ」

1986年より休まず毎月発行している院内広報誌「ひろっぱ」は創刊から38年目を迎えたが、今年もVol.450～461まで毎月3,500部を発行している。毎月の「ひろっぱ会議」にて、近森相談役をはじめとする編集委員のほか、制作協力会社の担当者にも同席いただき、ざっくばらんに意見を交わしながら構成を決定。多くの職員から寄稿いただいている。

“みんなが集まってワイワイと遊んだひろっぱのような情報交換の場を”という創刊時の想いを大切にしながら、職員はもちろん、患者さんや関係機関の皆さんがつい手に取って読んでみたくなるような広報誌として認知いただけるよう、今後も努めたい。

#### \*その他 主な刊行物制作・更新・発行実績

「近森病院からのホットライン」Vol.239～250	発行（月1回）
「近森病院地域医療連携ガイド2024年版」	発行（年1回）
「訪問看護ステーションちかもり ステーション通信ささえ」	発行（年3回）
「循環器ヨサコイ Meeting 案内チラシ」	発行（開催ごと）
「入院生活のごあんない」	更新（年2回ほか必要時）
「インフォメーション」	更新（年1回ほか必要時）
（上記のほか、単発で依頼されるポスターやチラシ制作も行っている）	

### 写真撮影

グループのイベントや広報誌の記事添付用など、幅広く写真撮影を行っている。撮影は課員のほか、「オフィシャルカメラマン」として登録いただいているグループ内の職員8名（12月末現在）にご協力いただいている。

2024年は、規模の大小を問わず合計200件余りの撮影を行った。

## 広告

高知県内の公共ビジョンを利用した動画広告や新聞広告、協賛広告などを出稿した。また、看護部主催イベントの告知を契機に新たな試みとして SNS（Instagram、Facebook）配信型の動画・静止画広告を 2 回出稿した。他の媒体広告と比べ視聴数やリアクションなどが可視化される点がメリットであり、コストパフォーマンスを考慮しつつ今後も活用していければと感じた。

その他、11 月よりとさでん交通路面電車のラッピング広告が 8 年ぶりに再開されることとなり、企画課がラッピングデザインを担当。当課は写真・動画撮影やプレスリリース、情報発信を行ったほか、記念イベントとして「近森電車写真コンテスト」を主催し、現在作品を公募中である。

## 取材依頼（プレスリリース）・取材対応

対外的に広くお知らせしたいイベントやトピックスは、必要に応じて県内外の新聞社や放送局へ取材依頼（プレスリリース）を行っている。従来の FAX・メール連絡のほか、6 月からはリリース配信サービス「PR TIMES」の利用も開始し、必要に応じて全国の各メディアへもリリースを行っている。

### \*取材実績 [報道されたもの]

- 1 月 能登半島地震への DMAT 派遣・帰還（DMAT 職員、井原災害対策委員長）  
医師の働き方改革（寺田管理部長）  
コロナ第 10 波の現状（石田感染症内科部長）  
退院患者さん支援「スマイルプロジェクト」（医療福祉部、ファミリーユ高知）
- 2 月 高知県医師会 テレビ医療講座（川井院長）  
能登半島地震への介護職員等応援派遣（沼ウエーブセンター長）  
災害関連死（井原災害対策委員長）
- 6 月 外国人人材の導入、特定行為研修修了看護師の活躍について（寺田管理部長）
- 7 月 よさこいチーム「ちかもり」取材（楠瀬代表）
- 8 月 同上（楠瀬代表、踊り子職員）  
南海トラフ臨時情報「巨大地震注意」に関して（井原災害対策委員長）
- 11 月 叙勲について（近森相談役）
- 12 月 パルスフィールドアブレーション四国初症例施行（三戸不整脈センター長）

## 病院見学・職場体験受入

主に他病院や関係機関からの病院・部門見学、中学生職場体験の受入窓口業務も担当している。

### \*受入実績

- 6 月 独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院  
社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが
- 7 月 高知県立幡多けんみん病院
- 9 月 高知市立城西中学校職場体験
- 10 月 土佐女子中学高等学校職場体験  
独立行政法人国立病院機構 高知病院
- 11 月 社会医療法人財団白十字会 白十字リハビリテーション病院  
脳卒中と栄養ケア・在宅支援 Nurture  
医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院
- 12 月 高知県立幡多けんみん病院

### 出前講座「ひろっぱ講座」

地域住民の方の医療に関する知識向上・健康増進を目的として、サロン活動や町内会の勉強会、企業における職員向け研修などへ医療専門職を派遣して講演を行っており、当課は事務局として1名がほぼ毎回同行して講師の周辺業務をサポートしている。

新型コロナウイルス感染症対策が緩和され2024年より対面での実施を再開し、講座は合計で33回実施、のべ1,200名の方に聴講いただいた。

### 公開県民講座・地域医療講演会

毎年開催している「近森病院 公開県民講座」、各診療科主催の「地域医療講演会」についても、これまでと同じく他課と協力しながら会合運営などを行った。

#### \*開催実績

##### [公開県民講座]

6月2日(日)

第24回公開県民講座 「POWER UP! チカモリ」

於 高知県民文化ホール(グリーン)

参加者数:328名(内オンラインLIVE配信視聴者数:106名)

##### [地域医療講演会]

2月5日(月)

第171回地域医療講演会 「COVID-19が市中肺炎となった時代の感染症診療」

神戸大学大学院医学研究科 微生物感染症学講座 感染治療学分野(感染症内科) 准教授  
大路 剛 先生

2月22日(木)

第172回地域医療講演会 「終末期ディスカッションとDNAR」

東京ベイ・浦安市川医療センター 救急・集中治療科 集中治療部門部長 呼吸器内科  
部長 センター長補佐  
則末 泰博 先生

4月22日(月)

第174回地域医療講演会 「がん治療および難治性疾患の漢方サポート」

東北大学大学院医学系研究科 漢方・統合医療学共同研究講座 特命教授  
高山 真 先生

10月11日(金)

第175回地域医療講演会 「がんと漢方」

医療法人徳洲会 日高徳洲会病院 院長  
井齋 偉矢 先生

10月29日(火)

第176回地域医療講演会 「神経集中治療で変わる周術期管理～多角的モニタリングと多職種連携～」

香川大学医学部 脳神経外科/救命救急センター 助教  
宍戸 肇 先生

## 公式 SNS 運営

広報課発足により、これまで企画課で運営していた公式 SNS（Facebook）の運営が当課へ移管された。

各部署ごとに運営している SNS アカウントが増えていたこともあり、ソーシャルメディア運用に関するガイドラインを法人として策定する方針が示され、全国の医療機関におけるガイドラインを参考に、6月26日付で「近森会グループソーシャルメディアガイドライン」を策定した。

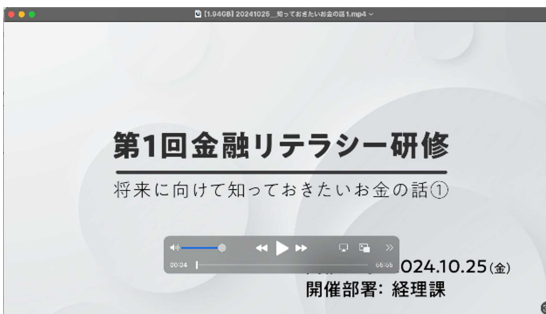
また、7月1日には公式 Instagram アカウントを開業、Facebook と連動させた情報発信を行うこととし、12月末現在で 57 投稿、3～4 日に 1 回のペースでの投稿を継続している。





## 動画による情報発信

視覚的に情報を伝えやすい動画による情報発信のニーズは高く、公共ビジョン広告、SNS、院内患者向け、職員向けなど、用途に応じた動画制作ならびに配信を行った。



## ホームページ

法人として公式ホームページのリニューアル検討を開始しており、業者の調査などに着手した。来年にはさらに具体的な検討へと進む計画であり、当課も主体的に関与していく予定である。

### 【人材育成・教育関連】

通年で行っている階層別研修、評価者・被評価者研修などを運営したほか、8月に開催された近森会グループ学術集会の運営事務局業務を行った。研修詳細は人材育成委員会年報を参照。

また、特に医療現場における職員の接遇向上に向けた活動として、ANA ビジネスソリューション社の講師による「医療現場における接遇研修」の試行について調整を行っており、来年初頭実施予定である。

その他、法人の統計コンサルタントを引き受けて頂いている兵庫医科大学 看護学部看護学研究科 井上正隆先生による下記活動において、調整窓口を担当した。

①毎月の統計セミナー動画の配信

井上先生より配信された動画のチラシを作成し、サイボウズ掲示板にて案内

②メールなどによるコンサルテーション

職員による統計相談の申し込みに対し、井上先生がメールや電話、オンラインなどでコンサルテーションを実施。広報は井上先生と相談者の窓口として対応。

③集中セミナー・コンサルテーションの実施；プログラムなど詳細はチラシ参照

2024年11月30日；セミナー参加者4名、コンサルテーション参加者4名

### 【人事】

北添由紀 主任 6/30 退職

### 【まとめ】

課の発足から6ヶ月、既存業務だけでなく新たな業務の導入もあり課員一同模索を続けながら、特にグループ内外への情報発信量を増やすことを主眼に取り組んだ。まだまだ業務の質は上がっておらず十分なアウトカムは出ていないが、SNSや動画による情報発信の機会が増えたことで患者さん・外部一般の方・取引先・職員とそれぞれへのタッチポイントを増やすことができたのではないかと考える。

来年はひとつひとつの業務に対する質の向上に取り組みつつ、さらなる情報発信の拡充に努めたい。